

和泉彩/再発見!



2022年3月オープン!
 明治大学和泉キャンパスの新校舎
 「和泉ラーニングスクエア」。
 授業のみならず、自習からグルー
 プワークまで、様々なニーズにあ
 わせて利用出来る新施設。
 積極的に学びたくなる不思議な空
 間。今号ではその内部をたっぷり
 お届けします(1・2頁担当:林田)。

オトナの過程



Vol.8

2023年10月1日
 総代会広報委員会
 『M』編集部

● 団らんスペース充実!
 入ってすぐ、真ん中に据えら
 れた大きな階段の下にも、広々
 したスペースがある。丸っこい
 ソファが可愛い空間では、

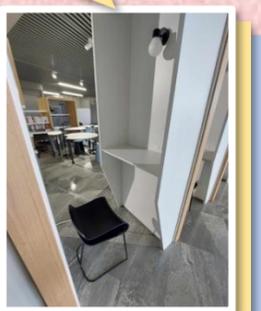
「白雲なびく」と思わず口
 ずさんでしまう、明大前駅の列
 車接近メロディを背に、リニユ
 ーアルした和泉キャンパスに入
 る。メディア棟を過ぎて左手に
 曲がると、以前は「第二校舎」
 の名前で親しまれた場所に、「ラ
 ーニングスクエア」が建ってい
 た。外壁に沿うような階段のデ
 ザインを踏襲しつつ、どこかし
 ら近未来を感じる外観。そして
 施設に入る前から、ビビットで
 可愛い椅子と、「L」「S」
 を象ったテーブルが並び、明る
 く開けた空間に迎えられる。



居心地バツグン
 グループボックス



静かな自習空間



● お一人様・少人数も快適!
 グループ作業や団らんは苦
 手、という学生にも優しい、誰
 にも邪魔されずに自習出来るス
 ペースも完備! 周りを壁で囲
 まれた隠れ家のようなスペース
 もあれば、開けてはいるが一人
 分のテーブルもある。好きな場
 所で思いっきり集中したい学生
 にはもってこいの場所だ。空間
 に無駄がない!

『M』編集部メンバー

- ◇ 林田 こそえ 2011年卒
- ◆ 高橋 凌士 2011年卒
- ◇ 三浦 直人 2011年卒
- ◆ 朝倉 貴紀 2012年卒
- ◇ 土屋 弦 2014年卒
- ◆ 岩田 澪夏 2015年卒
- ◇ 坂本 駿太 2015年卒
- ◆ 塩出 研史 2015年卒
- ◇ 垣 日菜子 2016年卒
- ◆ 高波 茉生 2016年卒
- ◇ 井畔 杏里紗 2018年卒
- ◆ 橋本 大輝 2018年卒
- ◇ 小林 麻衣 2019年卒

可愛い! 中庭のベンチ

食事も可能。各階にもテー
 ブルと椅子が充実しており、とにか
 く腰を落ち着けて作業が出来る
 よう設計されている。机によ
 てはコンセントも設置されてい
 て、パソコンを使った長時間作
 業も可能だろう。



取材班、しゅっぱーつ!

● 全室デザインが違う! グループボックス

驚いたのが、グループボック
 スと呼ばれるスペースだ。五人
 ほどで出来るガラス張りの
 個室だが、一部屋ずつ床・椅子・
 テーブルのデザインが違う!
 座椅子もあれば、チェアもあり、
 お洒落な部屋でのんびりと話し
 合いが出来そうだ。

反省人語

本誌『M』は、明治中高の若手OBOG
 が、会報『紫紺の詩』(こちらは、四五歳
 の幹事学年が中心となっている)とは異
 なる切り口から、議論を重ねて編集する
 ものである▼ところで、「若手」とい
 うのは、すこぶる曖昧な概念であって、私
 たちはいつまで、「若手」を名乗って『M』
 を編集して良いものか、いまひとつ分
 らないところがある▼「コロナ禍のあ
 いだに、編集部メンバーから、現役の大
 学生がいなくなった。当然、私たちの世
 代にとって切実であったこと、今の中
 高生・大学生にとって切実であること
 のあいだには、大きな隔たりが生じて
 いる▼本誌の立ち上げメンバーであ
 った移転共学化後の数世代は、世代間の溝
 やへらしさの問題に大きな関心を抱
 いた。重点は少しずつ移り変わり、ここ
 数年はもっぱら、「コロナ禍において何
 が出来るか」ということが、編集部の切
 実なテーマとなっていた▼今の中高生・大
 学生は、何に関心を持ち、何に悩んで、
 何を思い描いているのか。正直なところ、
 「若手」と名乗ってきた我々自身が、
 すでに「若手」の本音からずいぶん遠ざ
 かってしまったことを痛感している▼「
 変わらずに残るために、我々は変わらな
 ければならない」(ヴィスコンティ『山猫』

メンバーの近況

修士2年の人です。学生と社会人との
 間に空白がほしいと時々思う。み
 んな切り替えがすごいよ、私社会
 人になれるのか……? (井畔)

最近、本を出しました。『戯曲絵本
 カラクリ匣』(小鳥遊書房)です。
 ぜひ読んで下さい! (林田)

長い院生生活をようやく終わまし
 た。この間、何学年もの後輩が、「先
 輩社会人」となりました (三浦)

「オトナの『過程』M」
 Facebook もご覧下さい!

キオクノカタシメ 編集会議のひとこま

編集会議は、「記憶の片隅には残っているけれども、曖昧に
 しか思い出せないアレやコレ」をめぐる、唐突に始まる。

記者 A: 急に思い出したんだけど、生徒会で、明中/明八と交
 流するイベントがあった気がするんだよね……。

記者 B: 三校交流推進委員会だ! あれ今もあるのかな?

記者 C: イベントで言うと、体育祭の文化部対抗リレーとかも、
 なぜか印象に残ってますね。運動部との兼部勢がいて、
 めちゃくちゃ白熱する年があったりして……。

記者 B: あったあった! あ、猿楽町時代の、
 お昼休みにお茶のヤカン取りに行く当番は、
 誰か覚えてる? あー誰も知らないか……。



こうして、いつか記事になるかもしれない
 謎の何かが、議事録にたまっていくのでした。

求む

『M』編集部メンバー

10代~30代の若手 OBOG の皆さん!
 企画や取材、表現・発信が好きだという方、
 『過程』の編集委員だった方……etc
 一緒に『M』を企画・編集してみませんか?

編集会議中



編集部メンバー募集中!

編集部会のメールアドレスは、
 右のQRコードから!



メンバー(一部)



読者アンケートのお願い

無記名の読者アンケ
 ートを実施しており
 ます。ご協力いた
 けますと幸いです。
 今後の誌面作り
 に活かしてまいり
 ます!

一大プロジェクト「和泉ラーニングスクエア」、担当されたのは明校の先輩!

今回特集した「和泉ラーニングスクエア」。この一大プロジェクトを担当されたのが、明校の先輩であるということ、皆さんはご存知でしょうか?

学校法人明治大学職員の菅和禎先輩(1988年卒「昭和戊辰乃会」)。「入ってみたい」**和泉図書館**の建設(2012年5月開館)にも携わられた菅先輩は、すでに大学内外の様々なインタビュー記事で、ラーニングスクエアについてお話されているので、詳しくは、明大HPの特集記事(右のQRコード)などをご参照下さい!



明大HPへ

〈小特集〉「再会・再開」のおともに、ちょっと検索

コロナの位置付けが変わり、同期と久々に「再会」したり、同期会を「再開」したりという方も多いかもしれません。そんな「再会・再開」のおともに、明校のことをちょっと検索してみませんか? コロナ禍の中、様々なウェブコンテンツが、より充実したものに進化/深化していきました。明治関連のHPから、「再会・再開」を盛り上げる話題を探ります(担当:井畔・三浦)。



旧スクールバス引退!

調布移転後の世代にも、ノスタルジーを感じさせるニュース。新たなスクールバスに採用された2種類のデザインは、生徒の公募によるもの!



明大HPへ

同期や先輩・後輩が載っているかも?

明大生や明大卒業生の活躍を紹介する「MEIJI NOW」には、10代~30代の若手OBOGが、多数取り上げられています。要チェック! もちろん、これを読んでいる大学生・中高生のあなたが、今後取り上げられる可能性も!

明大HPへ



記憶がありそうでない学校生活リスト

「キャリアクエスト講座」、「特別進学指導講座」、「中大連携セミナー」、「高大連携サマーセミナー」、同「ウインターセミナー」、同「スプリングセミナー」とは……。どれも今この年齢になって気になるものばかりです。あと第6号でも触れましたが、リュックとポロシャツ、女子のグレーセーター・ベスト追加うらやましい(井畔)。

★学校行事や班・部活動、メディアでの紹介など、明校HPには、OBOGの知らない明校の姿が!

明校HPへ



今の自分は、明治中学に合格出来るかな……

中学受験の良問・難問を取り上げる某大手塾の名物広告(電車でよく見かける例のあれです)に、明治中学の入試問題が! 社会科の宮下崇先生(1999年卒)、平田裕貴先生(2011年卒「共楽会」)が、出題校インタビューに答えていらっしゃいます。「再会」の席で、同期と挑戦してみては?

平和



憲法



消費



●細かいデザインにキョー!

校舎内を見ていて目につくのがあらゆるピクトグラム。階数や標識といった実用性のあるものから、教室の窓にあしらわれた学生生活を表すものまで、じっくり見たくなるピクトグラムが描かれている。隠れめいじろうもいるので、ぜひ探してみたい。

●景色を一望するテラス

各階にテラスが設けられていて、そこから景色が一望出来る。外側に設置された階段からも、屋内から行くことが出来る場所だ。ここにももちろんテーブルと椅子。階によっては自動販売機も設置されている。そしてなんととっても景色は格別。最上階の透明なデザインの椅子に座れば、六本木か銀座にでもいるような気分になれるだろう。にくい演出だ。

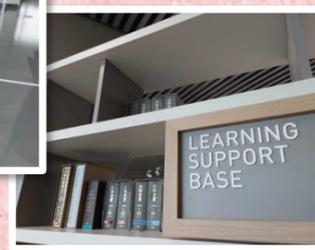
●学習支援コーナー

お洒落すぎ問題

六法全書などの資料が揃い、変わったかたちのホワイトボードが置かれる。思わず訪れてみたくなるのが「和泉学習支援コーナー」だ。以前のような教室型ではなく、透明性の高い柵に囲まれた空間。表の掲示板には学部別に、院生による学習相談募集の紙が貼られており、気後れせずに気軽に参加出来るだろう。わからないままにせず、学生同士が積極的に学んでいけるスペースだ。



◀隠れめいじろう?



オシャレ学習支援コーナー▶

●モダンを超えたモダン

第二校舎は一九六〇年に竣工。堀口捨己により設計され、「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」にも選ばれている。この歴史は、一階の和泉ホール横に展示され、旧校舎へのリスペクトを欠かさない。松田平田設計によるラーニングスクエアはそのモダンさを踏襲しつつ、近未来的なデザインかつ、アクティブ・ラーニングに実用的な空間を実現した超モダンともいえる建物ではないだろうか。



※ 明大広報課からご許可をいただき、取材・撮影いたしました。



マーメイドコーヒー ロースターズ

明大前駅から徒歩2分。2022年1月にオープンしたという珈琲店。ドリンクのテイクアウトはもちろん、コーヒー豆の購入や、試飲も出来ます。授業の間に一休みするもよし、ふらりと立ち寄ってもよし。白桃果肉の入った期間限定のカフェラテが美味!

明大前
美味散歩

新規開店の気になるお店をチェック

手打ちうどん七福人 (2022年10月オープン)
700円程度~食べられる、本格派のうどん屋さん。

Petite Patisserie YUKI (2022年11月オープン)
果物が自慢のケーキ屋さん。

スポルカチャーネ (2022年11月オープン)
隠れ家的、イタリア郷土料理が食べられるお店。

鉄板焼 どらきち (2023年6月オープン)
ランチも超ボリューム!